

質問者	通告 8 番 1 4 番 石井 勲 議員	通告時間 30 分 答弁者 町長・教育長
質問事項	新型コロナウイルス感染症における町事業への影響と対応は	
要 旨	<p> 新型コロナウイルス感染症対応で世界が大きく激動している。未知のウイルスのため、国・県の対応も日々変わる状況である。しかしながら町民を預かる基礎自治体としては、予算を着実に実行し、現在の状況を町民目線で、町民の声を聴き誠実にスピード感をもって対応していかなければならない。 </p> <p> 小田原市は守屋新市長が誕生した。足柄上地域 1 市 5 町も広域行政の注視度を上げていかなければならない。そこで以下の 6 項目について町の考えを伺う。 </p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町の歳入について、予算書に計上された項目で、比率的に大きくかわる可能性のもの、又新たに予算化される項目はあるか。その対応は。 2 歳出において、計上したが今年度執行が難しい事業はあるか。その事業は年度をまたいで行うのか、それとも次年度に繰り越すのか。その対応は。 3 緊急事態宣言の関連で、行政業務のデジタル化の遅れが指摘されている。町は早急に進める必要があるが対応・対策は。 4 オンライン教育の必要性が高まっている。喫緊の課題と考えるが対応と課題は。 5 1 市 5 町で県へ要望書を提出された。町として重点要望された項目は何か、又救急医療や地域医療の拠点機能が失われたとは何か。その対応・対策は。 	